

沈香の葉に便秘改善効果 健康食材を共同開発

岐阜薬科大と「アピ」



沈香の葉（手前）から開発した便秘改善食材。（右から）原英彰教授、アピの野々垣孝彦社長、飯沼宗和教授＝岐阜市役所で

スを抽出。ドリンク、錠剤、顆粒に加工した。現在の便秘薬に含まれる生薬に比べ、副作用の下痢、腹痛を起しにくく適度な排便を促せるという。

二〇〇六年に岐阜薬科大の原英彰教授（五巴）と飯沼宗和教授（六巴）が、沈香の葉に便秘改善効果があると発見。科学技術振興機構（JST）の委託業務に選ばれて〇七年十二月から共同開発し、効率的な抽出法や製剤法を開発して臨床試験で安全性を確認した。

岐阜市の岐阜薬科大と健康補助食品製造「アピ」（岐阜市加納桜田町）は、沈香（セキヤク）の葉から抽出した便秘を改善する健康食材を共同開発

したと発表した。

当面は青汁など既存の健康食品に加えた形で販売し、いずれは特定保健食品の表示許可を狙う。アピは五年後に年間五億円の売り上げを目指している。

（久保田麻里衣）